

## SIPAC が OCP-IP に参加、韓国語 WEB サイトの立ち上げを支援

韓国のメンバーは、新 Web サイトを利用して自国語でコンテンツにアクセス可能に

オレゴン州ポートランド— 2005年 5月 3日— OCP-IP (Open Core Protocol International Partnership) は、SIPAC (System Integration and IP Authoring Center) が参加したことを発表します。同時に、韓国語 Web サイトの開始を発表します。新バージョンの Web サイトでは、韓国語を使用するユーザーが組織情報およびコンテンツに、翻訳の手間を必要とせずに自国語でアクセスできます。OCP-IP のメンバーとなった SIPAC は、新規 Web サイトのコンテンツ作成を支援します。

SIPAC は、韓国特許庁 (Korean Intellectual Property Office) の支援を受けて 2001 年に設立された組織で、現在は韓国全体の知的所有権に関係した事業活動の中心になりつつあります。SIPAC の使命は、知的所有権の作成、評価、およびインターネットを介した取引や、知的所有権を法的また技術的に保護するためのインフラストラクチャを整備することです。SIPAC は、韓国の半導体業界をメモリ依存型のビジネスから SoC (system on a chip) 型に再編成しようとする新たな動きで主導的な役割を果たしています。

### SIPAC

は、技術と取引の両分野における標準規格が、これまでと同様、これからも大きな役割を果たしてゆくことを確信しています。SIPAC および OCP-IP が抱く使命の共通性が明確になった結果として、両者は強力な提携関係に向けて大きく前進しました。

OCP-IP の Ian Mackintosh 会長は、次のように語っています。「アジアでの OCP に対する関心は非常に高く、東芝、NEC、川崎、図研、Realtek、SIPAC などのメンバーが最近加入したことで、有用な OCP 情報をメンバーに各国語で提供する必要性を認識するようになり、この状況に対応してきました。」「これは、OCP-IP が、急速に拡大しつつあるメンバーの要望に応じてツールおよびインフラストラクチャを提供していることの一例と言えるでしょう。」「現地の言語でアクセス可能になることで、メンバーとビジターの両方が業務を効率的かつ効果的に行うことができるようになるため、OCP 標準のグローバル化は推進されます。」

### OCP-IP

のメンバー企業は、無料のトレーニング、サポート、ソフトウェアツール、およびドキュメントを享受できるので、メンバーは SoC の設計に集中できます。OCP-IP が無償で提供する強力なインフラストラクチャを活用することにより、独自の企画やサポートツールを設計、文書化、トレーニング、および開発する必要がなくなるため、貴重な資源を純粋な設計作業に投入し、コストを大幅に削減することが可能になります。

新しい OCP-IP 韓国語 Web サイトは、次の通りです。 [www.ocpip.org/korean](http://www.ocpip.org/korean).

## OCP-IPについて

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は2001年、相互接続が可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する完全なソケット規格として、Open Core Protocol (OCP) を推進、サポートする目的で発足しました。OCP-IPの Governing Steering Committee にはNokia社[NYSE: NOK]、Texas Instruments社[NYSE: TXN]、STMicroelectronics社[NYSE: STM]、東芝セミコンダクターグループ (TAEC東芝アメリカ電子部品社を含む)、Sonic社が参加しています。OCP-IPは非営利団体で、完全に支援されたオープンライセンス方式のコア中心プロトコルを初めて提供しました。OCPはIPコアの再利用を容易にし、SoC設計期間やリスク、製造コストを軽減します。VSIAはOCPソケットを支持していて、OCP-IPはVSI Alliance に加入しています。詳しい背景やメンバーシップ情報については、[www.OCPip.org](http://www.OCPip.org) をご覧ください。

すべての商標およびサービスマークはそれぞれ各社の所有物です。